



平成28年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年10月13日

上場会社名 ファーマライズホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2796 URL <http://www.pharmarise.com>  
 代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 大野 利美知  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役執行役員 (氏名) 秋山 昌之 (TEL) 03-3362-7130  
 四半期報告書提出予定日 平成27年10月15日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年5月期第1四半期の連結業績 (平成27年6月1日～平成27年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年5月期第1四半期	10,385	10.0	215	45.5	161	61.1	16	—
27年5月期第1四半期	9,441	3.3	148	△61.3	100	△69.3	△11	—

(注) 包括利益 28年5月期第1四半期 10百万円( —%) 27年5月期第1四半期 △11百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年5月期第1四半期	1.78	1.76
27年5月期第1四半期	△1.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年5月期第1四半期	24,604	5,146	20.6
27年5月期	24,225	5,811	23.0

(参考) 自己資本 28年5月期第1四半期 5,061百万円 27年5月期 5,574百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年5月期	—	0.00	—	16.00	16.00
28年5月期	—	—	—	—	—
28年5月期(予想)	—	0.00	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年5月期の連結業績予想 (平成27年6月1日～平成28年5月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,500	6.2	525	0.5	435	5.7	100	3.2	11.10
通期	42,000	6.3	1,335	16.8	1,160	16.2	335	47.0	37.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年5月期1Q	9,004,460株	27年5月期	9,004,460株
28年5月期1Q	一株	27年5月期	一株
28年5月期1Q	9,004,460株	27年5月期1Q	8,999,500株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成27年6月1日～平成27年8月31日)におけるわが国経済は、円安の継続に伴う企業収益の回復から雇用情勢に改善傾向が続き、緩やかな回復基調で推移いたしました。

調剤薬局業界におきましては、周辺業種からの参入等により競争が激化しているほか、医療費抑制等の社会的要請を背景に、在宅医療、後発医薬品の使用拡大及びセルフメディケーションの取組み等の一層の強化が求められるなど、厳しい経営環境となっております。

当社グループは、このような情勢のもと、引き続き面对店舗を含む新規出店による事業基盤の拡大を図るとともに、得意分野である地域医療(在宅医療及び施設調剤)や後発医薬品使用拡大を一段と推進することにより、経営環境への対応に全力で努めております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は10,385百万円(前年同期比10.0%増)、営業利益は215百万円(同45.5%増)、経常利益は161百万円(同61.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は16百万円となりました。

売上高につきましては、薬剤料売上の増加を主な要因として既存店が堅調に推移したことに加え、前連結会計年度以降に開局等をした店舗及び本年3月に取得した株式会社川口薬局が増収に寄与いたしました。

利益面につきましては、調剤売上高増加による増収効果に加え、仕入在庫管理の見直しや人件費を中心とした調剤経費の抑制を主な要因として増益となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

#### (調剤薬局事業)

当第1四半期連結累計期間における調剤薬局店舗数は9店舗の増加となり、当社グループが運営する調剤薬局は、同期間末時点で236店舗となりました。増加した9店舗の内訳は、連結子会社化した有限会社ドゥリームの4店舗(沖縄県)、ファーマライズ株式会社が事業譲受により取得した1店舗(東京都)及び新規開局の4店舗(元浜町店(滋賀県)、陸別薬局(北海道)、用賀店(東京都)、旭町店(北海道))であります。

薬局運営面につきましては、従来の事業戦略に基づき、①地域医療(在宅医療及び施設調剤)、②後発医薬品推進の取組みを引き続き強化しております。加えて新中期経営計画の基本方針に沿い、③面对店舗の展開、④一般用医薬品や健康食品等のセルフメディケーション関連商品の販売及び健康支援イベント等も実施するセルフメディケーション・サポート店舗に向けての積極的な取組みを開始いたしました。

これらにより、当第1四半期連結累計期間における調剤薬局事業の業績は、売上高は9,824百万円(前年同期比10.2%増)、セグメント利益は271百万円(同48.4%増)となりました。

#### (医学資料保管・管理事業)

医学資料保管・管理事業は、調剤薬局事業の周辺業務として、株式会社寿データバンクが手掛ける紙カルテやレントゲンフィルム等の保管・管理事業であります。現時点における同事業環境は、全国の病院において震災対応や業務効率化のための建替・移転が活発に行われていること等を背景として、医学資料の保管・管理需要は継続的に発生しておりますが、一方で保管年数の短縮化等の経費削減の動きも一部において見られます。

これらを背景として当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は190百万円(前年同期比4.3%減)、セグメント利益は24百万円(同24.4%減)となりました。今後とも新規需要の獲得に向け積極的な営業活動を展開してまいります。

#### (その他)

その他の事業の主な内容は、北海道ファーマライズ株式会社がJR札幌駅内の「JRタワーオフィスプラザさっぽろ」で運営する医療モール経営事業、同社による化粧品等販売事業、ファーマライズ株式会社の子会社である株式会社レイケアセンターによる人材派遣事業、新世薬品株式会社の子会社である有限会社エス・アンド・エスで行っている文具等の販売事業、ファーマライズプラス株式会社及び新世薬品株式会社によるコンビニエンスストアの運営事業等であります。

その他の事業における当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は370百万円(前年同期比13.3%増)、セグメント利益は2百万円の損失となりました。セグメント利益の損失は、本年9月30日に連結子会社とする薬ヒグチ&ファーマライズ株式会社の株式取得に係る費用を計上したことに加え、コンビニエンスストアの運営事業が未だ採算改善の途上にあることが主な要因であります。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産の残高は24,604百万円となり、前連結会計年度末残高24,225百万円に対し、378百万円増加しました。この主な要因は、会計方針の変更及び償却により、のれんの残高が6,202百万円となり、前連結会計年度末残高6,520百万円に対し317百万円減少した一方で、売上債権(「売掛金」と「未収入金」の合計)の残高が2,969百万円、在庫の増加により商品の残高が1,601百万円となり、前連結会計年度末残高、それぞれ2,793百万円、1,087百万円に対し、175百万円、514百万円増加したことによるものであります。

### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債の残高は19,458百万円となり、前連結会計年度末残高18,414百万円に対し1,043百万円増加しました。この主な要因は、仕入の増加に伴い買掛金の残高が7,460百万円となり、前連結会計年度末残高6,256百万円に対し、1,203百万円増加したことによるものであります。

### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は5,146百万円となり、前連結会計年度末残高5,811百万円に対し664百万円減少しました。この主な要因は、利益剰余金については、親会社株主に帰属する四半期純利益16百万円の計上により増加した一方で、当社の配当金の支払額144百万円、会計方針の変更により303百万円が減少し、残高が2,760百万円となり、前連結会計年度末残高3,191百万円に対し431百万円減少し、さらに、資本剰余金及び非支配株主持分は、子会社株式を非支配株主から追加取得し、それぞれ資本剰余金が81百万円、非支配株主持分が146百万円減少したことにより、残高が1,152百万円、16百万円となり、前連結会計年度末残高1,234百万円、168百万円に対し81百万円、152百万円減少したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年7月14日付の決算短信で公表いたしました平成28年5月期の連結業績予想に変更はございません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び  
「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)  
等を、当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(3)、連結会計基準第44-5項(3)及び事業分離等会計基準第57-4項(3)に定める経過的な取扱いに従っており、過去の期間すべてに新たな会計方針を遡及適用した場合の当第1四半期連結会計期間の期首時点の累積的影響額を資本剰余金及び利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首において、のれん及び利益剰余金はそれぞれ303,126千円減少しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益及び経常利益はそれぞれ12,913千円減少し、税金等調整前四半期純利益は38,048千円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,883,545	3,775,630
売掛金	370,400	428,463
商品	1,087,483	1,601,792
未収入金	2,423,225	2,540,573
その他	530,891	575,440
貸倒引当金	△37,670	△38,169
流動資産合計	8,257,876	8,883,731
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,374,735	3,427,553
土地	2,637,186	2,741,467
その他(純額)	633,909	596,944
有形固定資産合計	6,645,830	6,765,966
無形固定資産		
のれん	6,520,123	6,202,768
ソフトウェア	242,267	233,156
その他	32,955	33,361
無形固定資産合計	6,795,347	6,469,287
投資その他の資産		
差入保証金	967,459	961,704
その他	1,684,619	1,659,731
貸倒引当金	△147,790	△156,200
投資その他の資産合計	2,504,288	2,465,236
固定資産合計	15,945,466	15,700,489
繰延資産		
株式交付費	3,934	3,341
社債発行費	18,588	17,297
繰延資産合計	22,523	20,639
資産合計	24,225,865	24,604,860
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	6,256,950	7,460,257
短期借入金	3,593	62,335
1年内償還予定の社債	314,000	314,000
1年内返済予定の長期借入金	2,562,988	2,794,183
未払法人税等	271,915	149,895
賞与引当金	83,795	157,832
その他	1,131,611	833,203
流動負債合計	10,624,854	11,771,706
固定負債		
社債	881,000	851,000
長期借入金	6,069,757	5,956,515
退職給付に係る負債	351,730	362,743
その他	487,495	516,839
固定負債合計	7,789,983	7,687,098
負債合計	18,414,838	19,458,804

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年8月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,166,423	1,166,423
資本剰余金	1,234,091	1,152,191
利益剰余金	3,191,557	2,760,424
株主資本合計	5,592,071	5,079,038
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,300	1,799
退職給付に係る調整累計額	△21,008	△19,393
その他の包括利益累計額合計	△17,707	△17,594
新株予約権	67,757	67,757
非支配株主持分	168,906	16,853
純資産合計	5,811,027	5,146,055
負債純資産合計	24,225,865	24,604,860



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年8月31日)
売上高	9,441,997	10,385,642
売上原価	8,020,736	8,726,214
売上総利益	1,421,261	1,659,427
販売費及び一般管理費	1,273,086	1,443,863
営業利益	148,175	215,564
営業外収益		
受取利息	1,489	1,464
受取配当金	332	437
物品売却益	16,630	15,582
受取賃貸料	5,126	3,701
その他	6,974	10,093
営業外収益合計	30,554	31,279
営業外費用		
支払利息	46,054	42,518
持分法による投資損失	16,535	20,676
支払手数料	2,232	1,400
休止固定資産費用	3,688	6,841
その他	10,173	14,214
営業外費用合計	78,684	85,650
経常利益	100,045	161,193
特別利益		
固定資産売却益	361	62
投資有価証券売却益	499	—
段階取得に係る差益	—	12,555
特別利益合計	860	12,617
特別損失		
固定資産売却損	142	—
固定資産除却損	3,346	13,568
特別損失合計	3,489	13,568
税金等調整前四半期純利益	97,415	160,242
法人税等	111,096	149,706
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△13,680	10,535
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,171	△5,529
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△11,509	16,065

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年6月1日 至平成26年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年6月1日 至平成27年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△13,680	10,535
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	848	△1,501
退職給付に係る調整額	1,654	1,615
その他の包括利益合計	2,503	113
四半期包括利益	△11,177	10,649
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△13,348	16,178
非支配株主に係る四半期包括利益	2,171	△5,529

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 平成27年6月1日 至 平成27年8月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成26年6月1日至平成26年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	調剤薬局 事業	医学資料 保管・管理 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	8,915,926	198,884	9,114,811	327,186	9,441,997	—	9,441,997
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	8,915,926	198,884	9,114,811	327,186	9,441,997	—	9,441,997
セグメント利益又は損失 (△)	182,888	32,364	215,252	613	215,866	△67,691	148,175

(注)1 その他には、報告セグメントに含まれない医療モール経営事業、化粧品等販売事業、人材派遣事業、文具等の販売事業及びコンビニエンスストアの運営事業等が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△67,691千円は、報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成27年6月1日至平成27年8月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	調剤薬局 事業	医学資料 保管・管理 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,824,669	190,245	10,014,915	370,726	10,385,642	—	10,385,642
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	9,824,669	190,245	10,014,915	370,726	10,385,642	—	10,385,642
セグメント利益又は損失 (△)	271,423	24,456	295,879	△2,264	293,614	△78,050	215,564

(注)1 その他には、報告セグメントに含まれない医療モール経営事業、化粧品等販売事業、人材派遣事業、文具等の販売事業及びコンビニエンスストアの運営事業等が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△78,050千円は、報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。